

報道関係者 各位

東京大学政策ビジョン研究センター
センター長 森田 朗

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、東京大学政策ビジョン研究センターでは設立1周年を迎え、10月28日(水)に1周年記念フォーラムを開催する運びとなりました。

衆議院選挙を終え、国民の政権選択について結論が出た今、「政治」から「政策」へとギアチェンジをするべき節目の時期に当たっています。世界を見渡すと、金融危機の克服、社会の高齢化、地球環境問題、アジアの安全保障、都市の過密と地方の空洞化、イノベーションを阻む制度革新の遅れなど、様々な領域で解決すべき課題が山積しています。そして我が国は、世界の中でもこうした課題に真っ先に直面する国となります。政権選択に時間を要した我が国に残された時間的な猶予は少なく、課題の克服に向けて次々と政策を打ち出していく必要に迫られています。

総長直轄の全学横断組織として昨年10月に活動を開始した、政策ビジョン研究センターは、東京大学内の研究科や研究所等が持つ多彩な知識を全学的に結びつけるとともに、海外の研究機関とも連携関係を深めることで、課題解決に結集して取り組む国内外ネットワークの「ハブ」として活動しつつあります。

今回は新政権の発足直後のこの時期に、当センターが蓄積した研究成果や研究途上の調査結果等を取りまとめて発信する機会を設けると共に、今後当センターが行う活動の方向性や社会とのインターアクションの仕組みをどう構築するか等の点について示唆を得るため、各界の識者の方々に議論いただくパネルディスカッションも実施することと致しました。

本シンポジウムの事前告知、並びに当日取材につきましてご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本シンポジウム終了後に山上会館にて、「懇親会」を予定しております。シンポジウム参加者の方々とご歓談いただけるまたとない機会となっておりますので、よろしければこちらも是非、ご参加いただけますと幸いです。

当センターの概要および各研究ユニットの研究概要につきましては、参考資料として、別添させていただきます。こちらも是非ご参照いただけますと幸いです。

今後とも当センターの活動にお力添えの程、何卒よろしくお願い致します。

記

【日 時】 平成21年10月28日(水)

- ・1周年記念フォーラム 14:00～16:30(入場無料／受付開始 13:30～)
- ・懇親会 17:00～19:00(会費制※)
- ※会費:5000円(予定) 会費は懇親会会場にて受付けます。

【会 場】 ・1周年記念フォーラム 東京大学 工学部2号館講堂(213号室)
・懇親会 東京大学 山上会館地階食堂

お問い合わせ先:
東京大学政策ビジョン研究センター 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
電話: 03-5841-1708 Fax: 03-5841-1709
Email: pari@pp.u-tokyo.ac.jp
URL: <http://pari.u-tokyo.ac.jp>

【日 時】 平成21年10月28日(水)14:00~16:30/受付開始 13:30~

【会 場】 1周年記念フォーラム 東京大学 工学部2号館講堂213号室 (定員300名程度)

【プログラム】

- オープニング/森田朗 教授 14:00 -
- 基調講演/濱田純一 東京大学総長 14:05 -
- 政策ビジョン研究センター 研究成果紹介 14:30 -
 - ・全体ビジョン/坂田一郎 教授
 - ・高齢者・医療情報/秋山昌範 教授
 - ・知財とイノベーション/渡部俊也 教授
 - ・北東アジアの安全保障/藤原帰一 教授
 - ・技術ガバナンス/城山英明 教授
 - ・航空政策/鈴木真二 教授
- パネルディスカッション 15:30 -
 - ・コーディネーター/森田朗 教授
 - ・パネリスト
濱田純一 東京大学総長
増田寛也 元総務大臣
林芳正 元経済財政担当大臣
楠田大蔵 防衛大臣政務官 ほか(予定)
- クロージング/松本洋一郎 理事(副学長) 16:25 -

1周年記念フォーラム懇親会

【日 時】平成21年10月28日(水)
17:00~19:00

※会費:5000円(予定)
会費は懇親会会場にて受付けます。

【会 場】東京大学山上会館地階食堂

【URL】http://pari.u-tokyo.ac.jp/event/frm091028_info.html

【フォーラムお申し込み】http://pari.u-tokyo.ac.jp/event/frm091028_form.html

【懇親会お申し込み】http://pari.u-tokyo.ac.jp/event/frm091028_net_form.html



MISSION STATEMENT

わが国および国際社会が直面している課題に対し、東京大学が保有するリソースを駆使し、政策の観点から研究を行い、特定の政治的立場にとらわれることなく、ありうる政策の選択肢を追求し、それを社会に発信する。

現代では、社会で発生する諸問題を解決するために、最先端の研究成果を活用した政策の形成が求められています。東京大学では、これまで教員が個人として審議会等で政策立案に参加し、政策形成に貢献してきました。しかし、大学の社会貢献が求められる今、「東京大学アクションプラン 2005-2008」にも述べられているように、国立大学法人としての東京大学が政策形成の知的リソースを提供し、政策の選択肢を提示することは、その役割の一つといえます。そこで総長室の下に、シンクタンク機能を果たす政策ビジョン研究センター (Todai Policy Alternatives Research Institute) を設置しました。

政策ビジョン研究センターは、以下のようなシンクタンク機能を持つ発信機関です。

▶ 東京大学の研究成果を活かした政策の選択肢の発信

政策に関する提言をセンターが自ら発信するとともに、学内のさまざまな部局等による研究成果からアイデアを汲み上げ、政策の選択肢として社会に発信します。

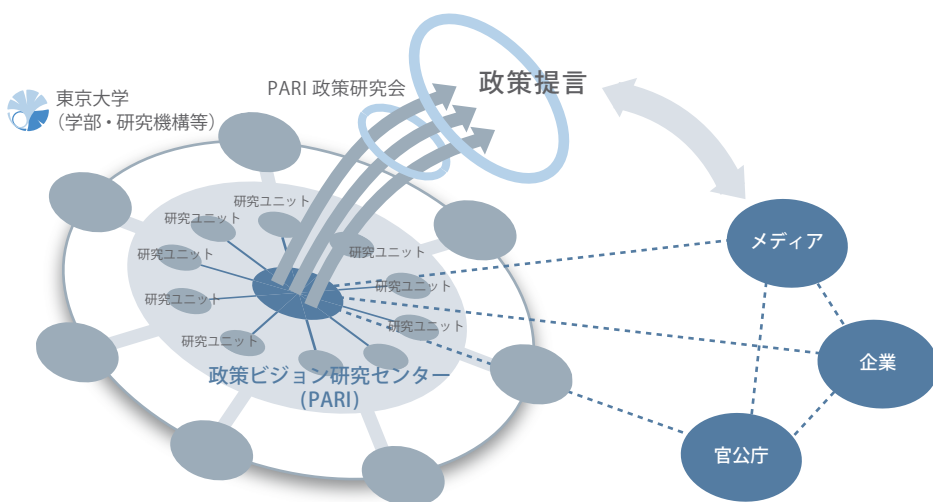
▶ 多分野のネットワーク化による課題の探知

多様な研究者を擁する総合大学の利点を生かし、多分野のネットワーク構築によって、それぞれの分野単独では発見できないような課題の探知とそれに対する総合的な解決策を模索します。

▶ 学内外の組織との交流による政策研究の活性化

多角的な研究発信を行うために、学内の諸部局をはじめ、官庁、企業、マスメディア、NPO、その他の組織とネットワークを形成し、相互の交流と政策研究の活性化を図ります。

政策ビジョン研究センターの仕組み



研究ユニット一覧

1. 北東アジアの安全保障研究ユニット
2. 知的財産権とイノベーション研究ユニット
3. 技術ガバナンス研究ユニット
4. 医療における IT 政策研究ユニット
5. 再生医療政策研究ユニット
6. 生命・医療倫理政策研究ユニット
7. 航空政策研究ユニット
8. 市民後見研究ユニット
9. 医療機器の開発に関する政策研究ユニット

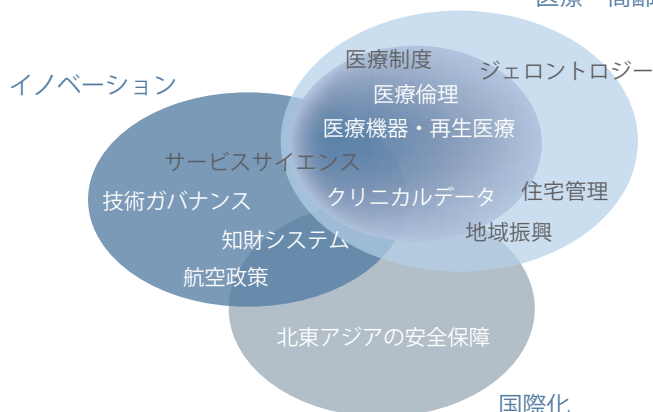
※その他、「海洋アライアンス」「食の安全 (フードコミュニケーション)」等に関する政策課題を検討中

※ PARI = Policy Alternatives Research Institute / 政策ビジョン研究センター

Member

- 森田 朗 / Morita Akira センター長
- 坂田 一郎 / Sakata Ichiro 教授
- 秋山 昌範 / Akiyama Masanori 教授
- 佐藤 智晶 / Sato Chiaki 特任助教
- 佐橋 亮 / Sahashi Ryo 特任助教
- 新田 有紀 / Nittami Yuki 特任研究員
- 小林 徹 / Kobayashi Toru 特任研究員
- 瀬川 友史 / Segawa Yushi 特任研究員
- 村上 壽枝 / Murakami Toshie 特任専門職員／企画担当
- 山野 泰子 / Yamano Hiroko 特任専門職員／広報担当
- 小林 範子 / Kobayashi Noriko 事務助手

医療・高齢化社会



[左上：政策ビジョン研究センター概念図 / 右下：研究ユニット俯瞰図]

研究ユニットの概要

1) 北東アジアの安全保障研究ユニット

国際連携の枠組みの中で、軍事のみならず、食糧、エネルギー、経済等の多角的な観点から現状の正確な分析と安全保障のあるべき形について研究し、提言を行う。

- －体制： 責任者 藤原 帰一教授（法学政治学研究科）、北岡 伸一教授、田中 明彦教授、高原 明生教授、久保 文明教授、松田 康博准教授、ロジャー スミス准教授、森田 朗センター長
- －期間・成果発表予定： 2009年より3年間
- －活動予定： 2009年07月4日 国際フォーラム開催、2009年12月 国際シンポジウム開催予定

2) 知的財産権とイノベーション研究ユニット

現行の知的財産権制度は、必ずしもイノベーションを最大化するものとはなっていない。権利の保護と公共性のバランスの見直し、オープン・イノベーションの拡がりへの対応等の視点から、イノベーションを加速しうる次世代の知的財産権制度のあり方について研究し提言を行う。

- －体制： 責任者 渡部 俊也教授（先端科学技術研究センター）、五神 真教授、元橋 一之教授、妹尾 堅一郎特任教授、杉光一成客員研究員、坂田 一郎教授
- －期間・成果発表予定： 2009年より3年間
- －活動予定： 2009年06月 国際シンポジウム開催、2009年10月 研究技術・計画学会、2009年11月 国際大学会合
- －政策提言： 東京大学・京都大学合同「未来を創造する特許制度のための15の提言」 2009/07/27

3) 技術ガバナンス研究ユニット

科学技術に関し、その利用に伴う社会的なリスクを回避し、便益を最大化することを目指した技術ガバナンス政策について研究し、提言を行う。これには、適正な規制や時代の変化に対応したその改訂のあり方を含む。

- －体制： 責任者 城山 英明教授（法学政治学研究科）、鈴木 達治郎客員教授、諸葛 宗男特任教授、松浦 正浩特任准教授、森田 朗センター長
- －期間・成果発表予定：
- －活動予定： 2009年02月13日 SEPP 公開フォーラム共催
- －政策提言： 「社会が選択するエネルギー・環境政策 ～技術政策と社会システム構築の連携に向けて～」 2009/07/14

4) 医療におけるIT政策研究ユニット

クリニカルデータ（患者の診断・治療に関する臨床医療情報）は、医療に関する貴重な知的資源でありながら十分に活用されていない。医療の質の向上、コスト削減等、医療現場のニーズに即した高度活用について研究し、提言を行う。これには、医師の意志決定支援システム、画像情報と臨床情報の統合技術に関する学術研究等が含まれる。

- －体制： 責任者 大江 和彦教授（医学系研究科医療情報経済学）、永井 良三教授、橋本 英樹教授、山本 隆一准教授、樋口 範雄教授、坂田 一郎教授、秋山 昌範教授
- －期間・成果発表予定： 5年間程度
- －活動予定： 2009年03月13日 シンポジウム開催、2010年2月 国際シンポジウム開催予定

5) 再生医療政策研究ユニット

自己細胞を用いる再生医療において、多種類の組織を用いて行われる複合組織移植が実現すれば、大きな組織欠損に対する治療となりうる。実用的な審査制度や、多施設共同で組織の培養・管理・運搬を行うために必要な制度・技術などを研究し、実現に向けた提言を行う。

- －体制： 責任者 高戸 毅教授（医学部附属病院）、星 和人特任准教授、秋山 昌範教授、鄭 雄一教授、
小山 博之特任准教授
- －期間・成果発表予定： 2008 年 10 月 1 日より 5 年間
- －活動予定： 2008 年 12 月 27 日フォーラム開催

6) 生命・医療倫理政策研究ユニット

生命科学の進展に伴い出現してきた、遺伝子操作や臓器移植などの新技術は、医療への応用に際して新たな生命倫理問題の検討を必要とする。社会の倫理観や個人の死生観などを考慮に入れながら、適正な生命倫理政策の在り方を研究し、提言を行う。

- －体制： 責任者 赤林 朗教授（医学系研究科）、秋山 昌範教授、井上悠輔特任助教
- －期間・成果発表予定： 2008 年より 5 年間

7) 航空政策研究ユニット

我が国の航空機製造業が Y S 1 1 以来半世紀ぶりに旅客機全機開発に挑もうとしている今、国の誇りを持てる国産航空機の世界市場への展開など航空産業の発展と空の有効活用による国民生活の向上（航空イノベーション）を実現するための総合的な「航空政策」の選択肢を検討する。

- －体制： 責任者 鈴木真二教授（工学系研究科）、日原勝也特任教授、奥村裕一客員教授、森田朗センター長、
坂田一郎教授
- －期間・成果発表予定： 5 年間で予定
- －活動予定： 2009 年 03 月 25 日 シンポジウム開催

8) 市民後見研究ユニット

加齢とともに落ちる判断能力、これを法的に補う成年後見制度の利用促進策を検討しながら、医療・介護・金融・住宅ほかの生活産業の取引の安全および活性化を図る社会事業を創出する。そのための事業モデルと制度改革を提言する。

- －体制： 責任者 甲斐一郎教授（医学系研究科）、宮内康二特任助教、新井誠教授（筑波大学法科大学院）、
森田朗センター長
- －期間・成果発表予定： 2010 年 3 月（中間報告）

9) 医療機器の開発に関する政策研究ユニット

医療水準の画期的向上、Innovation による国民経済に対する刺激効果の両面からその普及が期待されている医療機器の研究開発の活性化を促すために、安全規制や製造物責任のあり方などの制度整備について研究し、政策提言を行う。

- －体制： 責任者 林良造教授（公共政策大学院）、樋口範雄教授、秋山昌範教授、佐藤智晶特任助教
- －期間・成果発表予定： 2010 年 3 月（中間報告）

※この他、「海洋アライアンス」「食の安全」等の政策課題を検討中